



複数学年

学年	教科	活用場面	番号・活用シート名	領域番号	基になった活用シート名	市町村	学校
小学校 5・6年	国語	朝学習	①聞き手名人を目指そう!	話聞 12	自分の意見と比べて聞き取ろう	池田市	神田小学校
中学校 1～3年	国語	授業	②ことわざや慣用句を知ろう	言5	ことわざや慣用句を知ろう	寝屋川市	第八中学校
小学校 5・6年	国語	授業	③データにもとづいて	書 13	データにもとづいて	箕面市	豊川南小学校
小学校 1～3年	特活	授業	④ひみつのマークあてゲーム	話聞2	ひみつのマークあてゲーム	茨木市	郡山小学校
小学校 4～6年	特活	授業	⑤データにもとづいて	書 13	データにもとづいて	茨木市	郡山小学校
小学校 1・2年	国語	授業	⑥ぶんをつくろう	書1①	ぶんをつくろう	千早赤阪村	千早小吹台小学校
小学校 1～6年	国語	朝学習	⑦「ひみつのマークあてゲーム」	話聞2	ひみつのマークあてゲーム	泉南市	鳴滝小学校
小学校 1～6年	国語	朝学習	⑧物語をわかりやすくまとめよう	読4	おはなしをまとめよう	泉南市	鳴滝小学校
小学校 1～6年	国語	朝学習	⑨大事なお話はいくつ?	話聞4	だいじなお話はいくつ?	泉南市	鳴滝小学校
小学校 5・6年	国語	授業	⑩「自分の考えをわかりやすく伝えよう」	話聞 11	自分の考えをわかりやすく伝えよう	泉南市	鳴滝小学校
小学校 5・6年	総合	授業	⑪今日学んだこと、教えるよ!(1)(2)	書7	今日学んだこと、教えるよ!	田尻町	町立小学校
小学校 4～6年	国語	授業	⑫自分の考えをわかりやすく伝えよう	話聞 11	自分の考えをわかりやすく伝えよう	岬町	深日小学校
小学校 5・6年	国語	授業	⑬書き出しの工夫を考えよう	読 16	書き出しの工夫を考えよう	池田市	神田小学校

「ことばのちから」活用シート 活用事例

【池田市立神田小学校】

Table with 4 columns: 活用シート名 (①聞き手名人を目指そう!), 学年 (小学校5・6年), 教科 (国語), 活用場面 (朝の会), 基になった活用シート名, 時期 (10月), 配当時間 (15分).

目標 話し手の話す内容に合わせて、質問や自分の意見を考えることができる。

活用シート工夫した点: Includes a worksheet image with a dialogue box and instructions like '話聞 12 聞き手名人を目指そう!' and 'めあて 話し手の発言をよく聞いて、質問や意見を述べよう。'

- 話し合いを深めていくためには、聞き手はただ聞くだけではなく、そのあとに質問や自分の考えを言うことも大切である(聞き手から話し手に)。そのために、質問や自分の考えを、どのように伝えたらよいかを考えるワークシートを作った。
●質問や自分の考えを伝えるための型を提示し、それに合わせて書く練習をした。

成果や改善点 ●ワークシートだと、考える時間もあり、相手の考えをもう一度読み直すことができる。そのため、実際の話し合いでは、質問や自分の考えを伝えるのが苦手な児童でも、じっくり考えることができ、全員書くことができていた。
●実際の話し合いにつなげていけるように、いろいろなパターンをさらに練習していく必要がある。

子どもの様子(発言、ノート、板書、解答例、写真等)

Handwritten student responses and work examples. Includes a student's note: '自分の考えに賛成です。なぜなら、自分で進んであいさつすることによって、相手もあいさつをしようという気持ちになると思ったからです。' and another: 'あいさつを全員がいっしょに聞いていると言いましたが、聞いた人があいさつをする気にならないのでしょうか。'

「ことわざのちから」活用シート 活用事例

【寝屋川市立第八中学校】

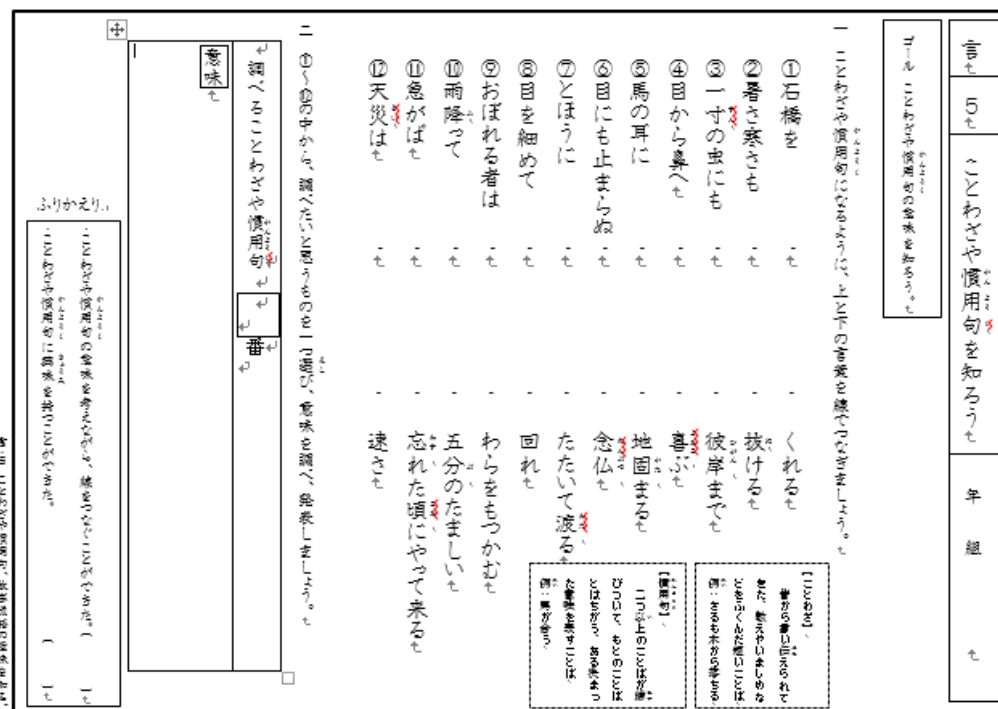
活用シート名	②ことわざや慣用句を知ろう			基になった活用シート名	言5 ことわざや慣用句を知ろう
学年	中学校1～3年	教科	国語	時期	11月
活用場面	授業（展開）（支援学級）			配当時間	50分

目標

ことわざや慣用句について知り、辞書を使って自ら調べ、理解し、みんなの前で発表することができる。

活用シート

工夫した点

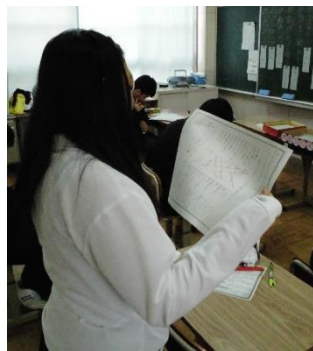
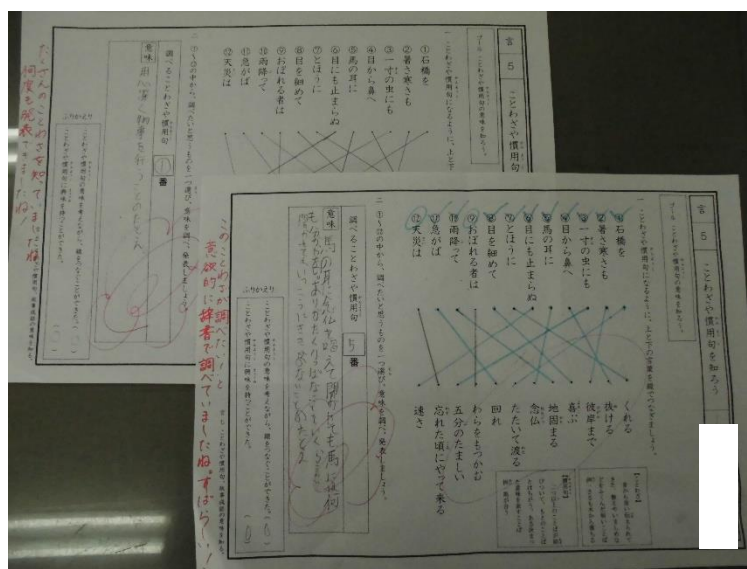


- 2, 3年生は授業や定期テストで経験があったのでわかる問題もあり、また点つなぎも取り組みやすかった。
- 1年生はわからない部分も多くあったが教師や先輩の助けも得ながら考えて点つなぎに取り組んでいた。
- 辞書引きは授業で日常的に使用していたので、どの生徒もスムーズに取り組めた。また、辞書に載らない慣用句も支援教室にあるカードの教材を使って調べることができた。

成果や改善点

- 聞いたことがある言葉が出てきたときは積極的に発表することができていた。
- わからなかった生徒も、発表者の発表を聞いて意欲的に活動していた。
(このシートを活用したことで発表をスムーズに進めることができた)
- 今回は個々で考える授業展開にしたが、グループ活動にして意見をもっと活発に交流させてもよかった。
- ICTももう少し活用すべきだったと感じた。

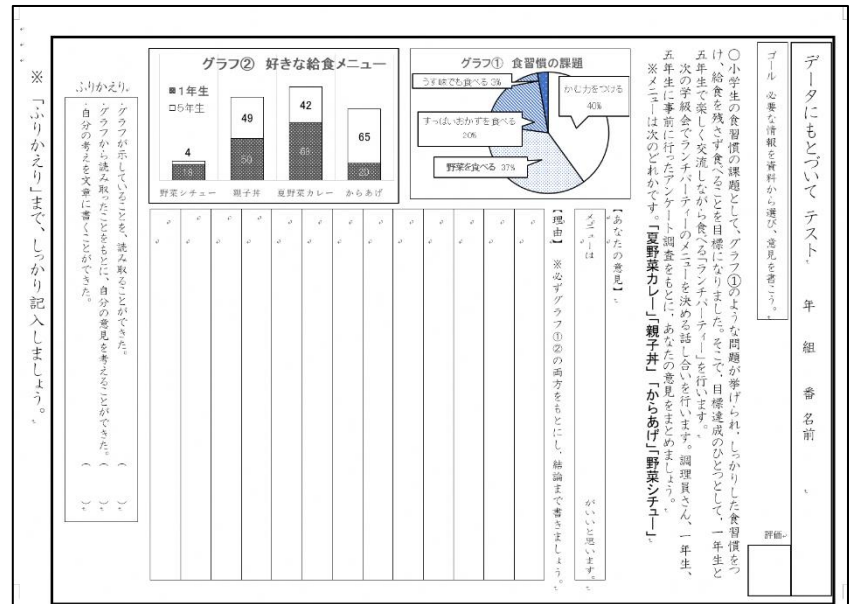
子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）



「ことばのちから」活用シート 活用事例

【箕面市立豊川南小学校】

活用シート名	③データにもとづいて			基になった活用シート名	書13 データにもとづいて
学年	小学校5・6年	教科	国語	時期	11, 12月
活用場面	授業 授業改善			配当時間	2
目標	2つのグラフをもとに考え、自分の意見を記述することができる。				
活用シート工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ● 活用方法 ● 朝の学習時間や授業時間を使って、ワークシート（練習）に取り組んだ後、担任が回答例を見て採点をする。 ● 採点後、学級の傾向をつかみ、書く力をつけるように意識し、普段の授業に取り組む。※国語の授業に限らない ● 2～3週間後にグラフや内容を少し変えた同系統のテストに取り組む <ul style="list-style-type: none"> ● 栄養教諭に相談し、箕面市の児童の食習慣と栄養状況についての現状を踏まえたテーマで問題を作った。 ● 採点を学年ごとに同じ机で行い、傾向や課題などを洗い出す形態をとることで、共有を図った。 ● 4段階の評価（実質3段階）とし、あらかじめ解答例を提示することで観点を明確にしたことで、採点時間を短くするように努めた。 ● 児童の振り返り欄に、「自分で考えて答えることができた」を加えることで、意欲的に考える姿を見とったり、普段の授業にそれを意識させたりすることに役立てた。 ● 説得力を持った主張については、2つのグラフから導き出せるメニュー以外でもA評価をもらえるように設定しておいた。 ● 練習プリントでは「始め」「グラフ①からの意見」「グラフ②からの意見」「結びの文」と項目を分けた。そのことで、テストプリントで、グラフ①②のどちらを見ての意見を書いているのかを意識できるようにした。 				
成果や改善点	<ul style="list-style-type: none"> ● 普段の授業の中に「書く」力を伸ばすための視点を取り入れる大切さや、現状把握（児童の成果と課題）の大事さを共有することができた。 ● 研修という形をとったことで、学年間にとどまらず、縦の系統性をつかみ、指導に活かす視点を持つことができた。 ● テストではグラフを変えたり、回答欄をつなげるなど難易度を上げたにもかかわらず、結果は、6年生では練習とほぼ同様、5年生では、練習のA評価が30%からテストでは45%と大幅に増えるといった結果を得ることができた。 				



子どもの様子（発言やノート、板書、解答例、写真 等）

※「ふりかえり」まで、しっかり記入しましょう。

ふりかえり
グラフが示していることを、読み取ることができた。
グラフから読み取ったことをもとに、自分の意見を考えることができた。
自分の考えを文章に書くことができた。

グラフ② 好きな給食メニュー

1年生 5年生

メニュー	1年生	5年生
野菜シチュー	4	19
親子丼	49	50
夏野菜カレー	42	69
からあげ	65	29

グラフ① 食習慣の課題

うす味でも食べる3%
ずっばいおかずを食べる20%
野菜を食べる37%
かむ力をつける40%

○小学生の食習慣の課題として、グラフ①のような問題が挙げられ、給食委員で話し合いました。そこで、しっかりと食習慣を上げ、給食を残さず食べることを目標に、1年生と5年生で交流しながら食べる「ランチャータイム」を行いました。給食室にアンケート調査をもとに決めるため、調理員さん、1年生、5年生に事前に行ったアンケート調査をもとに話し合います。あなたなら、「夏野菜カレー」「親子丼」「からあげ」「野菜シチュー」のうち、どのメニューを提案しますか。

ゴール 必要な情報を資料から選び、意見を書く。

データにもとづいて 練習 6年

あなたの意見

わたしは夏野菜カレーがいいと思います。

かむ力をつける

かむ力をつける40%。このグラフは、食習慣の課題を示したものです。このグラフを見ると、課題となっているのはかむ力をつける、野菜を食べるということだと思います。野菜を食べるという課題は、かむ力をつけるという課題と関係しています。野菜を食べることでかむ力もつきます。そして、野菜を食べることで栄養も取れます。野菜は、からだにいいです。野菜を食べることで、かむ力もつきます。野菜を食べることで、栄養も取れます。野菜は、からだにいいです。

あなたの意見

わたしは夏野菜カレーがいいと思います。

かむ力をつける

かむ力をつける40%。このグラフは、食習慣の課題を示したものです。このグラフを見ると、課題となっているのはかむ力をつける、野菜を食べるということだと思います。野菜を食べるという課題は、かむ力をつけるという課題と関係しています。野菜を食べることでかむ力もつきます。野菜を食べることで、栄養も取れます。野菜は、からだにいいです。野菜を食べることで、かむ力もつきます。野菜を食べることで、栄養も取れます。野菜は、からだにいいです。

あなたの意見

わたしは夏野菜カレーがいいと思います。

かむ力をつける

かむ力をつける40%。このグラフは、食習慣の課題を示したものです。このグラフを見ると、課題となっているのはかむ力をつける、野菜を食べるということだと思います。野菜を食べるという課題は、かむ力をつけるという課題と関係しています。野菜を食べることでかむ力もつきます。野菜を食べることで、栄養も取れます。野菜は、からだにいいです。野菜を食べることで、かむ力もつきます。野菜を食べることで、栄養も取れます。野菜は、からだにいいです。

未記入

文章が完結していない、意図がほとんど伝わらない、あまりに根拠不足、書いているが、Aには及ばない。(明確でない、矛盾がある、説明不足など) 「主張」「グラフ①」「グラフ②」「結論」の全てがあり、意図が伝わる。又は「結論」はないが、説得力がある。

グラフ② 好きな給食メニュー

1年生 5年生

メニュー	1年生	5年生
野菜シチュー	4	19
親子丼	49	50
夏野菜カレー	42	69
からあげ	65	29

グラフ① 食習慣の課題

うす味でも食べる3%
ずっばいおかずを食べる20%
野菜を食べる37%
かむ力をつける40%

○小学生の食習慣の課題として、グラフ①のような問題が挙げられ、しっかりと食習慣を上げ、給食を残さず食べることを目標に、1年生と5年生で交流しながら食べる「ランチャータイム」を行いました。給食室にアンケート調査をもとに決めるため、調理員さん、1年生、5年生に事前に行ったアンケート調査をもとに話し合います。あなたなら、「夏野菜カレー」「親子丼」「からあげ」「野菜シチュー」のうち、どのメニューを提案しますか。

ゴール 必要な情報を資料から選び、意見を書く。

データにもとづいて テスト 6年

あなたの意見

わたしは夏野菜カレーがいいと思います。

かむ力をつける

かむ力をつける40%。このグラフは、食習慣の課題を示したものです。このグラフを見ると、課題となっているのはかむ力をつける、野菜を食べるということだと思います。野菜を食べるという課題は、かむ力をつけるという課題と関係しています。野菜を食べることでかむ力もつきます。野菜を食べることで、栄養も取れます。野菜は、からだにいいです。野菜を食べることで、かむ力もつきます。野菜を食べることで、栄養も取れます。野菜は、からだにいいです。

あなたの意見

わたしは夏野菜カレーがいいと思います。

かむ力をつける

かむ力をつける40%。このグラフは、食習慣の課題を示したものです。このグラフを見ると、課題となっているのはかむ力をつける、野菜を食べるということだと思います。野菜を食べるという課題は、かむ力をつけるという課題と関係しています。野菜を食べることでかむ力もつきます。野菜を食べることで、栄養も取れます。野菜は、からだにいいです。野菜を食べることで、かむ力もつきます。野菜を食べることで、栄養も取れます。野菜は、からだにいいです。

あなたの意見

わたしは夏野菜カレーがいいと思います。

かむ力をつける

かむ力をつける40%。このグラフは、食習慣の課題を示したものです。このグラフを見ると、課題となっているのはかむ力をつける、野菜を食べるということだと思います。野菜を食べるという課題は、かむ力をつけるという課題と関係しています。野菜を食べることでかむ力もつきます。野菜を食べることで、栄養も取れます。野菜は、からだにいいです。野菜を食べることで、かむ力もつきます。野菜を食べることで、栄養も取れます。野菜は、からだにいいです。

「ことばのちから」活用シート 活用事例

【茨木市立郡山小学校】

活用シート名	④ひみつのマークあてゲーム			基になった活用シート名	話間2 ひみつのマークあてゲーム
学年	小学校1～3年	教科	特活	時期	10月
活用場面	縦割学習会			配当時間	1時間
目標	・交流を通して言語活動を豊かにし、書く力を育てる。				

活用シート ・ 工夫した点		●縦割学習に取り入れることで、高学年が低学年にやさしく教えたり、低学年が高学年に憧れを抱くようになったりと声かけを工夫した。
---------------------	--	--

成果や改善点

- 小グループの縦割りなので、充実した時間となった。
- 普段から算数の課題については縦割り学習ができていたので、ことばのちからでも活用を試みたが、一部課題の設定が難しいところもあったが、概ねシートを活用して交流しながら書く力をつけることができた。
- 自分の書いたマークについての問題を出し合っていた。

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真 等）

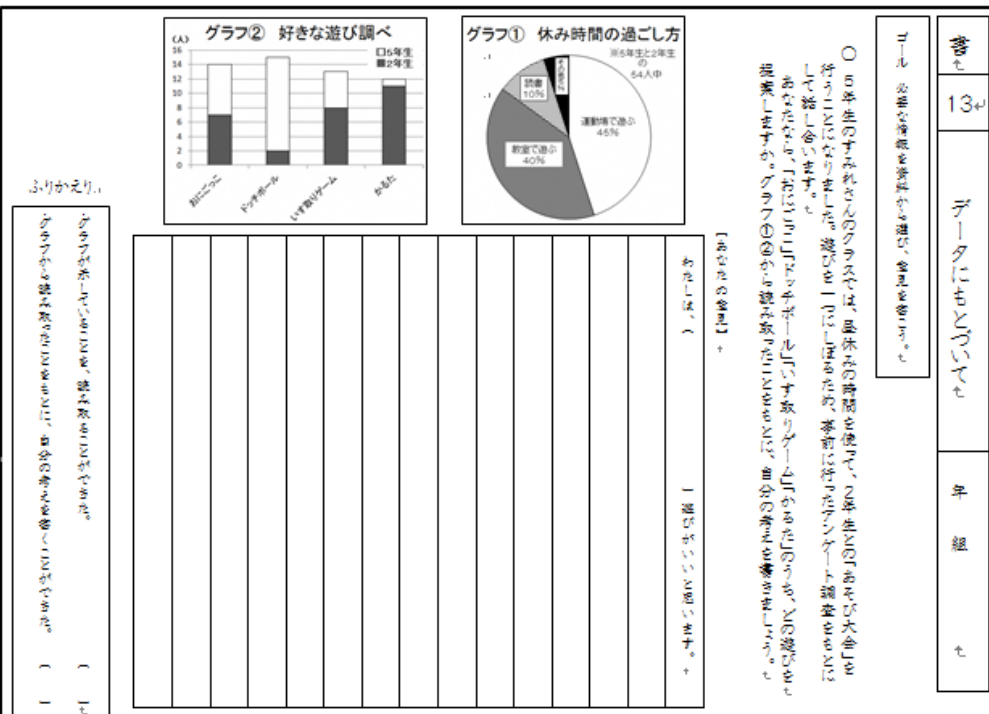


1年～6年まで、280人を36グループの縦割りにしています。（写真は1～3年）
1グループ8人程度で学習会をしています。



「ことばのちから」活用シート 活用事例

【茨木市立郡山小学校】

活用シート名	⑤データにもとづいて			基になった活用シート名	書13 データにもとづいて
学 年	小学校4～6年	教 科	特活	時 期	10月
活用場面	縦割り学習会			配当時間	1時間
目 標	・交流を通して言語活動を豊かにし、書く力を育てる。				
活用シート ・ 工夫した点	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;">  </div> <div style="width: 35%;"> <p>●縦割学習に取り入れることで、6年生が4, 5年生にやさしく教えたり、4年生が6年生に憧れを抱くようになったりと声かけを工夫した。</p> </div> </div>				
成果や改善点	<ul style="list-style-type: none"> ●小グループの縦割りなので、充実した時間となった。 ●普段から算数の課題については縦割り学習ができていたので、ことばのちからでも活用を試みたが、一部課題の設定が難しすぎるところもありましたが、概ねシートを活用して交流しながら書く力をつけることができた。 				

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真 等）



1年～6年まで、280人を36グループの縦割りにしています。（写真は4～6年）
データの読み取りに困っていた4年生に6年生が教えている。

「ことばのちから」活用シート 活用事例

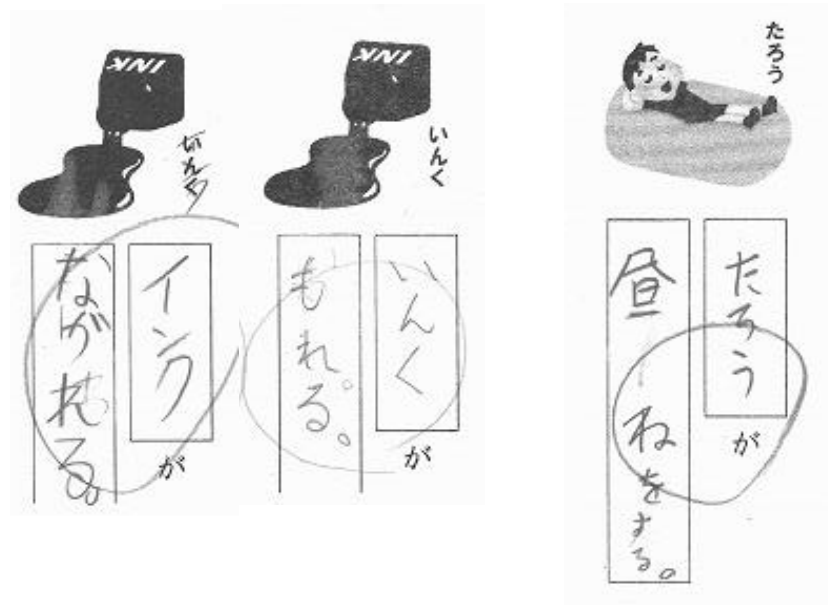
【千早赤阪村立千早小吹台小学校】

活用シート名	⑥ぶんをつくろう			基になった活用シート名	書1① ぶんをつくろう
学年	小学校1・2年	教科	国語	時期	12月
活用場面	授業（展開）			配当時間	20分
目標	1年）例にならって主語と述語を使った文を書く。2年）絵の様子を主語と述語を使った文で表す。				
活用シート 工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ●1年生は上段の文を一斉指導の中で聞き取って書き、下段は自分なりに書くようにした。 ●2年生は、みんなで例文を読んで簡単に確認をしたあと、自分の力で書くようにした。 				
成果や改善点	<ul style="list-style-type: none"> ●1年生）いくつかの文を書くことによって、主語と述語の役割になんとなく気づき、簡単な文の仕組みが分かった。 ●2年生）何気なく書いている文について、改めて意識しながら書くことができた。 ●2年生）1年生とは違って、いろいろな動詞を使った自分なりの表現をしようとするのが分かり、語彙数や発達段階の違いを再認識できた。 ●どちらの学年も楽しんで文づくりに取り組めたので、ぜひ次は自作の、もっといろいろな表現ができる例で書かせてみたいと思った。 				

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）



1年生はほとんど同じ表現だがすらすらと書いていた。



2年生は自分なりの表現を楽しんで書いていた。

・インクの絵を見て、「たれる、はちがうんじゃないかな。」とか、「お手本が『さく』なので、『ねている』なのか『ねる』なのかどちらですか。」ときいてきた児童に、「どちらだと思う。」と尋ねたら、「『ねる』だと思います。」と言い、動詞の活用についても気づききっかけとなった。

「ことばのちから」活用シート 活用事例

【泉南市立鳴滝小学校】

活用シート名	⑦「ひみつのマークあてゲーム」			基になった活用シート名	話間2 ひみつのマークあて ゲーム
学年	小学校1～6年	教科	国語	時期	6月
活用場面	朝学習			配当時間	15分
目標	・ひみつのマークを自分の言葉で、相手にわかりやすく説明することができる。				
活用シート 工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ●ペアでそれぞれ違うマークの説明をするために、2種類のシートを作成した。 ●「まず」「はじめに」「つぎに」などの言葉を使って、分かりやすく説明する方法を事前に伝えた。 ●説明の仕方を教師が先に見本でみせた。 				
成果や改善点	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもたちの振り返りから、「〇〇のようにと、例えたらわかりやすい。」などの意見があり、分かりやすく伝えるためにはどんなことが必要なのを感じ取ることができていた。 ●「マーク当て」ということで、ゲーム感覚で楽しく取り組むことができた。 ●職員の感想として、『にじゅうまる』がわからない子や、『くっつけて』を聞き逃している子など、意外なところの弱さが見えました。」というような、新たな気づきが見られたこともあった。 ●低学年には15分という時間では難しく、また、文章にする作業も難易度が高かった。 ●「〇(丸)3つと棒1本」という条件のもと、自分で好きなマークを作らせて説明させてもよかった。(高学年) 				

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）

The image displays two pages of student work. The left page features a student's explanation of a '3 circles and 1 stick' mark. It includes a drawing of three circles and a stick, and handwritten text in Japanese. The right page shows another student's explanation of the same mark, also with a drawing and handwritten text. Both pages have a header with the title '話間2 ひみつのマークあてゲーム' and a section for 'ふりかえり' (reflection).

「ことばのちから」活用シート 活用事例

【泉南市立鳴滝小学校】

活用シート名	⑩「自分の考えをわかりやすく伝えよう」			基になった活用シート名	話聞11 自分の考えをわかりやすく伝えよう
学年	小学校5・6年	教科	国語	時期	7月
活用場面	国語の授業			配当時間	1時間
目標	●自分の考えを、結論から話してわかりやすく伝えることができる。				
活用シート工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもたちにとって身近で、興味のある食べ物（給食か弁当）の話題だったため、活用シートそのままの形で取り組んだ。 ●初めに自分の考えの結論を決めてから、それに伴う理由を詳しく考えさせた。その際、「いいから。」「〇〇の方が好きだから」という書き方だけではなく、詳しく理由を書くように伝えた。 ●考えた意見はグループで話し合い、自分とは違う考え方も知るようにした。 				
成果や改善点	<ul style="list-style-type: none"> ●1人ひとりが、どちらがいいかと決めた理由を、自分の生活などもふまえながら考えて詳しく書くことができていた。 ●グループで話し合う場面になると、司会などの役割を与えないと自分たちで進めることが難しい。 ●友だちの意見を聞いてから、その意見に対する質問や意見など、書いていること以外のことを話すのは難しい。 ●自分たちで話し合いを進め、深めていくためには何か手立てがいると感じた。（普段の学習も含めて） 				

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）

話聞 11 11 11

自分の考えをわかりやすく伝えよう

グループ 11 11 11

自分の考えを、はじめに結論からわかりやすく話す。

一 学校の給食は、給食がよいか、お弁当がよいかについて、クラスで話し合うことになりました。次のことに気をつけて、自分の考えを伝えましょう。

① はじめに、給食、お弁当のどちらがよいかについて、自分の意見を決め、まず結論を話しましょう。

② なぜ、給食がよいか、お弁当がよいかの、複数の理由を考え、話しましょう。

③ 最後に、まとめとして、自分の意見をもう一度繰り返して、聞き手に一言言いたいことが伝わるようにしましょう。

① 私は、お弁当の方がいいと思います。

② 一つの理由は、親がいつも弁当を作るのはつかれると思うからです。

③ 二つ目の理由は、弁当を食べていくのをずるずると食べたいからです。

④ だから、親の負担を減らすためには給食がいいと思います。

二 「中学校は制服がいいか、私服がいいか」について、同じように考えを伝えてみましょう。

私は、

自分の考え

ふりかえり

はじめに結論を話し、説明することができた。

理由も、親の負担を減らしたいということが、自分自身を納得させることにできた。

今はもう少しスムーズに話をしたい、はじめに結論を話し、意見を述べる。

話聞 11 11 11

自分の考えをわかりやすく伝えよう

グループ 11 11 11

自分の考えを、はじめに結論からわかりやすく話す。

一 学校の給食は、給食がよいか、お弁当がよいかについて、クラスで話し合うことになりました。次のことに気をつけて、自分の考えを伝えましょう。

① はじめに、給食、お弁当のどちらがよいかについて、自分の意見を決め、まず結論を話しましょう。

② なぜ、給食がよいか、お弁当がよいかの、複数の理由を考え、話しましょう。

③ 最後に、まとめとして、自分の意見をもう一度繰り返して、聞き手に一言言いたいことが伝わるようにしましょう。

① 私は、弁当がいいです。

② 一つの理由は、給食は、お弁当よりもお弁当の方が好きです。

③ 二つ目の理由は、お弁当は、お弁当の方が好きです。

④ だから、私は、お弁当の方が好きです。

二 「中学校は制服がいいか、私服がいいか」について、同じように考えを伝えてみましょう。

私は、

自分の考え

ふりかえり

はじめに結論を話し、説明することができた。

理由は、お弁当の方が好きです。

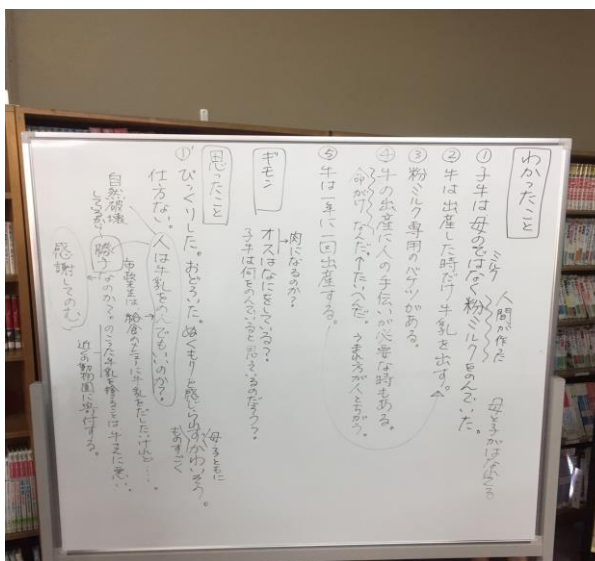
今はもう少しスムーズに話をしたい、はじめに結論を話し、意見を述べる。

「ことばのちから」活用シート 活用事例

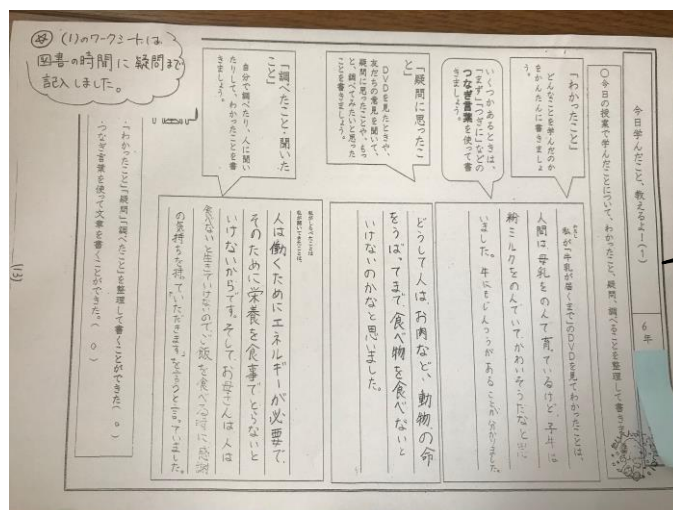
【田尻町立小学校】

活用シート名	⑪今日学んだこと、教えるよ！（１）（２）			基になった活用シート名	書7 今日学んだこと、教えるよ！
学年	小学校5・6年	教科	総合	時期	6月
活用場面	授業			配当時間	45分×2
目標	学習の中での気づきや思いを言葉や文章で表し、友だちと共有し、深めるための手立てとする。				
活用シート ・ 工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ●第一時では、学んだことについて、自分の感じたことや考えを記録するためのシートとして活用した。シートのめあてを「今日の授業で学んだことについて、わかったこと、疑問、調べを整理して書きましょう」とし、シートもこれに合わせて作り変えた。（今日学んだこと、教えるよ！（１）） ●第二時では、学んだことを大人に伝えるということを前提とし、相手に伝わるようなわかりやすい文章を書くことをめあてとした。同じシートを、その内容に合うように作り変えた。（今日学んだこと、教えるよ！（２）） 				
成果や改善点	<ul style="list-style-type: none"> ●一般の原稿用紙だと、自分の考えや思いをめあてを絞って書くことは少し難しいかもしれないが、活用シートを使うことにより、めあてに沿った内容でほとんどの子どもたちが書くことができていた。 ●自分の思いを書くだけでなく、伝える相手を意識して書くということに取り組ませることにより、より分かりやすい文章を書くことを意識させ、自分の文章を読み返して校正させることも指導できた。 ●高学年といえども、基本的な文章の書き方を習得できていない児童がいることも分かり、今後、普段から書くことに対する指導を意識して取り組んでいかななくてはならないことがわかった。 ●はじめは全学年同じ活用シートから作り変える予定だったが、当たり前のことながら低学年中学年は他のシートの方が書きやすいことがわかり、変更した。学年や子どもの力を見極めて児童の実態に合った活用シートの利用や作り変えをすることが大切である。（中学年は 話聞3 たからものをしようかいしよう のシートを利用した。） 				

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）

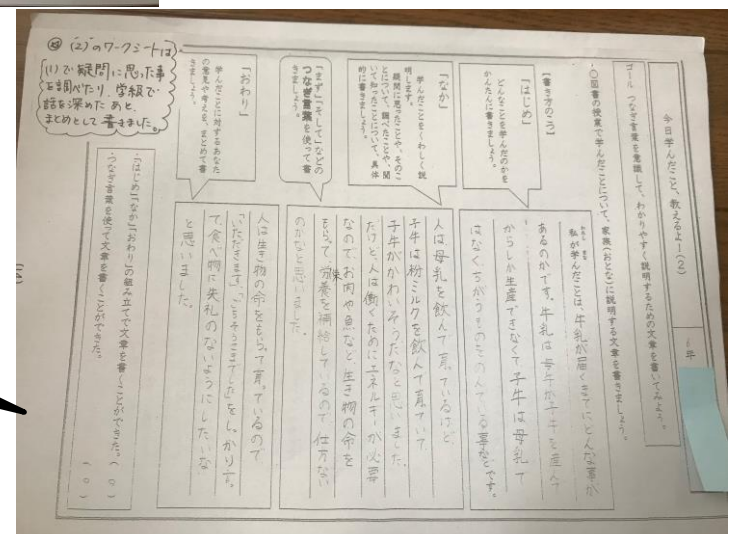


図書室での授業（ホワイトボードへの板書）



今日学んだことを、教えるよ！（１）

今日学んだことを、教えるよ！（２）



「ことばのちから」活用シート 活用事例

【岬町立深日小学校】

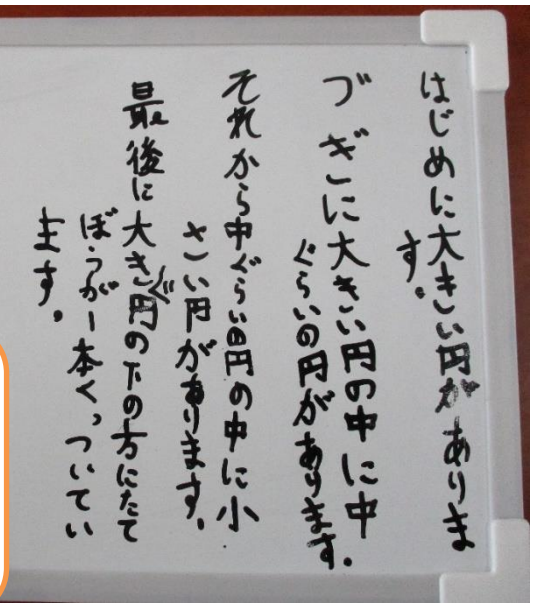
活用シート名	⑫自分の考えをわかりやすく伝えよう			基になった活用シート名	話聞11 自分の考えをわかりやすく伝えよう
学年	小学校4～6年	教科	国語	時期	水曜5限
活用場面	4～6年合同の異学年での学び合い			配当時間	年10回程度
目標	自ら考え、ともに学び合い、表現する力を育成する				
活用シート工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ●4～6年生の児童を、4つの教室に分けて異学年や同学年のペアをつくり、同じ教材で学び合いをしています。単学級で、特に4年生は6人しかいないので、異学年で刺激し合いながら学ぶようにしています。 ●4年生～6年生まで共通して取り組める教材を選ぶために、児童ができるかどうか考えながら教材を選んでいる。 				
成果や改善点	<ul style="list-style-type: none"> ●異学年で学び合いをすることで、上の学年の表現表法や話し方を学び合うことができていた。 ●下の学年にとって学びの質が高められたというだけでなく、6年生にとっても率先して取り組む意識が非常に強い時間の持ち方であると考えられる。改善点としては、教師は指導方法や展開を事前に確認し、クラス2人態勢にしたがベテランと若手で指導力での差が出てしまうこともあった。 				

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）

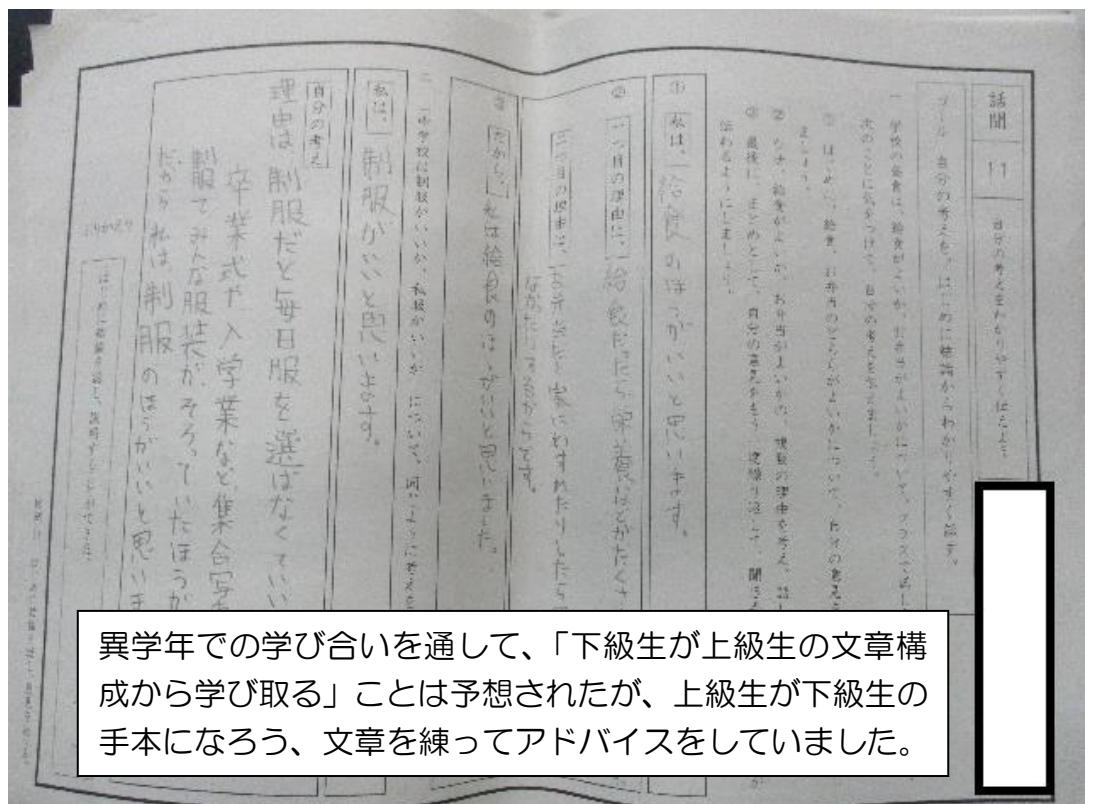


5・6年生でことばのちからの同じ課題に取り組んでいます。児童もふだん一緒に学習しない友達とできることで学習意欲の向上につながっています。

ひとりひとつのホワイトボードがあります。文章を練り上げたり、書き足したりする際に重宝しています。



本校は4年生が6人しかいません。同様に1桁の児童数の学年が増加傾向にあります。4年と6年生と組み合わせるとどうなるかなど、試行錯誤中です。



異学年での学び合いを通して、「下級生が上級生の文章構成から学び取る」ことは予想されたが、上級生が下級生の手本になろう、文章を練ってアドバイスをしていました。

ことばのちから」活用シート 活用事例

【池田市立神田小学校】

活用シート名	⑬書き出しの工夫を考えよう			基になった活用シート名	読16 書き出しの工夫を考えよう
学年	小学校5・6年	教科	国語	時期	6月
活用場面	授業			配当時間	2時間
目標	書き出しを工夫して、運動会作文を書くことができる。				

5年

運動会などの場面を書くか…

「書き出しの工夫を見つけてあげることができた。」

「工夫した書き出しを考えたことができた。」

6年

運動会などの場面を書くか…

「書き出しの工夫を見つけてあげることができた。」

「工夫した書き出しを考えたことができた。」

活用シート

工夫した点

- 基になった活用シートは、物語等の書き出しを問題にしていたが、もっと身近に感じられるように、卒業生の作文等を使って作りかえた。
- 書き出しの例文を追加で紹介することで、書きやすくした。
- 学年によって、少し難易度を変えて作りかえた。

成果や改善点

- 読み手を意識した書き出しを書くことができた。
- 今回は、書き出しの部分だけの指導になったので、タイトルや展開など、他の部分の指導もできる活用シートを作る必要がある。また、今回は高学年用なので、他の学年でも使えるような活用シートを作りたい。

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）

5年

運動会などの場面を書くか…

「書き出しの工夫を見つけてあげることができた。」

「工夫した書き出しを考えたことができた。」

6年

運動会などの場面を書くか…

「書き出しの工夫を見つけてあげることができた。」

「工夫した書き出しを考えたことができた。」

「縁の下の方持ち」が一番いいから、私は、立体ピラミッドでそんな人でいたいと思った。

私は、立体ピラミッドの3番目。写真に写らない、暑い、一番力がかかる、という場所なのでこの列の子も、いいやだー。

「いやだー」とも言う子もいた。でも、私はこのポジションを気に入った。なぜなら、このポジションがいなければ一番上の子は立てない、と思ってしまう。ここが一番ステキなポジションだ。

と気づいた。

だから、私はこのポジションが好きだし、ふだんの生活でも「縁の下の方持ち」が良いと思ってる。